

アクティブ・ラーニングに関する 自己診断チェックリスト

あなたは授業でアクティブ・ラーニングを実施していますか？

学生の主体的な学習を促進するという意図のもと、授業の中で1回でも下記の項目を計画し、実施している授業があれば、をしましょう。

一つでもできれば、アクティブ・ラーニングを実施していると言えます。

※以下の項目は、実際に徳島大学で行われている授業での実践事例から抽出しています。

課題演習

- 課題を解かせて提出させ、次週の授業で返却し解説を行っている
- 小テストを行い、答えを学生に発表させたり板書させたりした後で、解説を行っている
- 小テストの解答について、学生同士で確認させる時間を設けている

質疑応答

- 疑問をといかけ、学生の答えに応じた説明を行っている
- 学生に質問カードを書かせ、次週の授業で質問に答えている
- 簡単な実験を行った後で、実験の結果などについて学生に問いかけて答えを引き出しながら解説を行っている
- 基本的事項について説明を行い、鍵となる概念について学生同士のペアで教え合いをさせている

振り返り

- 学生に授業で学んだことを紙に書かせ、短いコメントやスタンプを付して返却している
- 授業で学んだ内容について、学生同士のペアで確認を行わせている

グループワーク

- あるテーマについて、学生がグループで話し合った内容をまとめる時間を設けている
- ある事例を学生に提示し、グループで問題点や解決策を考えさせたり発表させたりしている

ディスカッション

- 一つのテーマを与え、ペアまたはグループで話し合い（議論）をさせている
- 事前学習としてテーマに関連する自習をさせ、授業で話し合い（議論）をさせている

プレゼンテーション

- 事前に与えた一つのテーマについて、個人またはグループで3分程度の発表をさせている
- テーマを設定し、グループで話し合い（議論）をさせてから発表させている

※アクティブ・ラーニングの授業方法は、チェックリスト上のもの以外にも様々にあります。
「徳島大学のアクティブ・ラーニングの定義」を参照し、どのような方法があるか考えてみるのもよいでしょう。

徳島大学のアクティブ・ラーニングの定義

教員による一方的な知識伝達とは異なり、課題演習、質疑応答、振り返り、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等を取り入れることにより、学生自らが考え抜くことを教員が促し、学生の能動的な学習を促進させる双方向の教授・学修のこと。